

# 16 ポートおよび 32 ポートの非同期ネットワーク モジュールについて

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[製品番号](#)

[機能](#)

[プラットフォームのサポート](#)

[コンフィギュレーション](#)

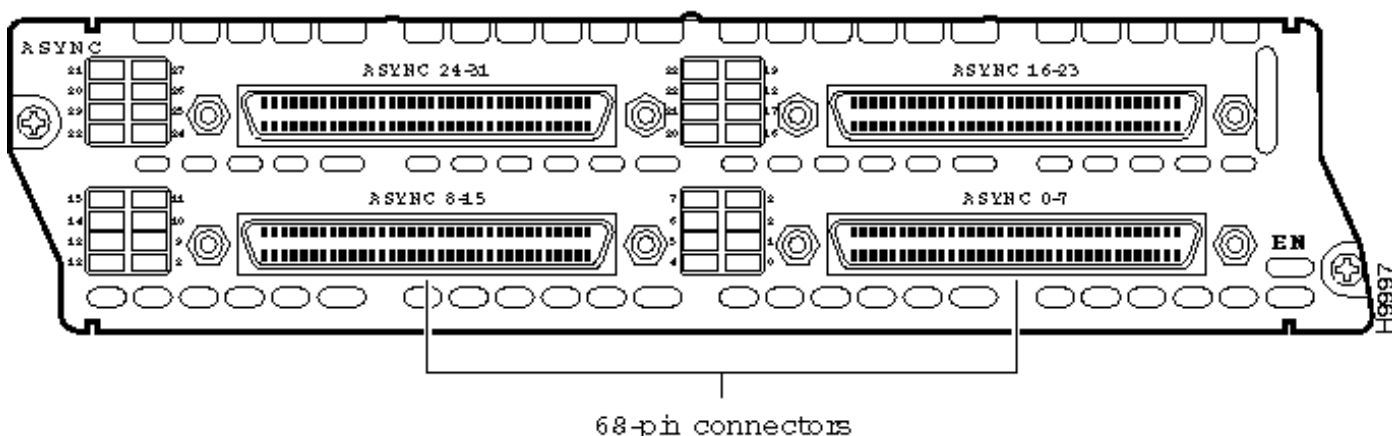
[回線番号](#)

[フィールド通知](#)

[関連情報](#)

## 概要

16 ポート ( NM-16A ) および 32 ポート ( NM-32A ) 非同期ネットワーク モジュールは、16 または 32 個の EIA/TIA-232 ( 以前の RS-232 ) データ端末装置 ( DTE ) シリアル インターフェイスを 134.4 kbps の速度で提供します。これらのモジュールでは CAB-OCTAL-ASYNC= や CAB-OCTAL-MODEM= などの 68 ピン オクタル ケーブルを使用します。NM-16A および NM-32A モジュールは、コミュニケーション/ターミナル サーバ設定で他のデバイスのコンソール ポートにアウト オブ バンド接続を提供するために使用されることがよくあります。



## 前提条件

### 要件

「[プラットフォームのサポート](#)」を参照してください。

## 使用するコンポーネント

「[プラットフォームのサポート](#)」を参照してください。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 製品番号

NM-16A - 16 ポート非同期ネットワーク モジュール

NM-32A - 32 ポート非同期ネットワーク モジュール

## 機能

- 16 または 32 の非同期ポート。
- 68 ピン コネクタ：[CAB-OCTAL-ASYNC= または CAB-OCTAL-MODEM=](#) を使用します。
- すべてのポートで同時に 134 kbps 非同期をサポートします。
- Cisco 3640 あたり最大で 3 つ、Cisco 3620 あたり 1 つ、Cisco 2600 あたり 1 つのモジュールをサポートします。

## プラットフォームのサポート

Cisco 2600	Cisco 2600 XM	Cisco 3620	Cisco 3640	Cisco 3660	Cisco 2691	
11.3(3)T、 12.0(1)、 12.0(1)T、 12.1(1)、 12.1(1)	12.1(14)、 12.2(12)、 12.2(8)T1、 12.2(11)Y	11.2(7)P、 11.3(1)、 11.3(1)T 12.0(1)、 12.0(1)T、 12.1(1)、 12.1(1)	1 2 8 1 1 1 2	11.2(7)P、 11.3(1)、 11.3(1)T、 12.0(1)、 12.0(1)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)T、	12.0(5)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)	12.2(1)3)T、 12.2(1)Y T、 、

T、 12.2(1) 、 12.2(2) T、 12.3(1)	T、 12.3( 1)、 12.3( 2)T	12.1(1)T 、 12.2(1)、 12.2(2)T 、 12.3(1)	3( 1) 、 1 2. 3( 2) T	12.3(1)、 12.3(2)T	T、 12.2(11 )YT、 12.3(1) 、 12.3(2) T	12. 3(1 )、 12. 3(2 )T
11.3(3) T、 12.0(1) 、 12.0(1) T、 12.1(1) 、 12.1(1) T、 12.2(1) 、 12.2(2) T、 12.3(1)	12.1( 14)、 12.2( 12)、 12.2( 8)T1 、 12.2( 11)Y T、 12.3( 1)、 12.3( 2)T	11.2(7)P 、 11.3(1)、 11.3(1)T 、 12.0(1)、 12.0(1)T 、 12.1(1)、 12.1(1)T 、 12.2(1)、 12.2(2)T 、 12.3(1)	1 2. 2( 8) T 1 、 1 2. 3( 1) 、 1 2. 3( 2) T	11.2(7)P、 11.3(1)、 11.3(1)T、 12.0(1)、 12.0(1)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)T、 12.3(1)、 12.3(2)T	12.0(5) T、 12.1(1) 、 12.1(1) T、 12.2(1) 、 12.2(2) T、 12.2(11 )YT、 12.3(1) 、 12.3(2) T	12. 2(1 3)T 、 12. 2(1 1)Y T 、 12. 3(1 )、 12. 3(2 )T

注：提供されているCisco IOS®ソフトウェアリリースは、通常、対象のプラットフォーム、モジュール、または機能をサポートするために必要な最低限のバージョンです。[Software Advisor \(登録済みのお客様専用\)](#)を使用して、[ご使用中のネットワークデバイス用の適切なソフトウェアを選択します](#)。ソフトウェア機能を Cisco IOS と CatOS のリリースに照合し、IOS の各リリースを比較し、使用しているハードウェアをサポートしているソフトウェアを探してください。

## コンフィギュレーション

NM-16A および NM-32A モジュールは、他のデバイスのコンソールポートにアウト オブ バンド接続を提供するために使用されることがよくあります。コミュニケーション サーバとしてルータを設定するには、次のドキュメントを参照してください。

- [ルータ コンソール アクセス用のターミナル/コミュニケーション サーバの設定](#)
- [Sun コンソール アクセス用コミュニケーション/ターミナル サーバの設定](#)

一般的なモデム設定については、『[NM-8AM または NM-16AM アナログ モデム モジュールでのダイヤルアウト設定](#)』を参照してください。このドキュメントでは NM-16A および NM-32A モジュールについて言及していませんが、構成の概念は適用されます。

詳細については、『[アクセス：ダイヤル技術のサポート ページ](#)』を参照してください。

16 および 32 ポート非同期ネットワーク モジュールでは、インターフェイスは `interface async <line number>` として処理されます。

## 回線番号

Cisco IOS ソフトウェアの以前のリリースでは、ネットワーク モジュール スロットあたり 16 個の非同期回線番号が予約されていました。これは、32 ポート非同期ネットワーク モジュールで問題が発生する原因となっていました。したがって、NM-16A または NM-32A モジュールが Cisco 3600 にインストールされると、Cisco IOS ソフトウェアはスロットあたり 32 個の回線番号を予約します。これは、スロットあたり 16 個の回線番号に基づいた非同期設定があるシステムに NM-16A または NM-32A モジュールがインストールされる場合に問題を引き起こします。補助ポートは Cisco 2600 および Cisco 3620 では回線 65、Cisco 3640 では回線 129 になりました。シャーシの回線番号付けを確認するには、**show line** コマンドを使用します。

```
line number = (<slot> * 32) + <unit> + 1
```

詳細については、『[Cisco 3600 シリーズ ルータにおける非同期回線の番号付け](#)』を参照してください。

## フィールド通知

- [重要なお知らせ : Cisco アクセス サーバにおけるターミナル サーバのブレイク文字](#)

## 関連情報

- [製品およびダイヤル技術のサポートページへのアクセス](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)